

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 北茨城市立中郷第一小学校

担当教諭名 秦野 良和

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

| | |
|------------------------|--|
| 実施日時 | 平成22年11月25日(木) 13:50 ~ 15:25 |
| 対象学年と人数 | 6年生 94名(3クラス) |
| 派遣講師名と出身国 | ・ジェフリー パーク(アメリカ) ・タスファイエ ガライヤ(エチオピア) ・新垣 マリア(ペルー) ・グ ミンチョル(韓国) |
| 活動の内容 | ・母国語のあいさつ、自己紹介 ・全体交流 アメリカ・エチオピア・ペルー・韓国の紹介(自然・学校生活・衣食住など) ・国別交流 質問・体験コーナーなど |
| 今回実施されたワールドキャラバンについて評価 | 事業に参加しての意見・感想 毎年、この事業に学校として参加させていただいており、大変お世話になっています。 児童は、このワールドキャラバンでの交流を本当に楽しみにしています。やはり、本やインターネットを通してだけでは得られない、生の声を聞くことができるということが、最大の魅力だと思います。今年度も、児童たちにとって忘れられない、貴重な経験となりました。 |
| 生徒・保護者等参加者の感想 | ・アメリカでは、地震が少ないことや、竜巻がすごく怖いことなどを知りました。インディアンも地方に住んでいると聞いてびっくりしました。アルマジロやサソリなどが普通にその辺にいるのがすごいと思いました。(児童)・エチオピアは空気がきれいだと聞き、行ってみたいくなりました。自分と同じぐらいの子が描いた絵がとっても上手でした。(児童)・ペルーの先生のおどりがとても上手でした。先生が着ていた衣装もすごくきれいでした。先生と一緒におどれて楽しかったです。いろいろな民族衣装も見せてもらえてうれしかったです。紫色のトウモロコシを見せてもらって、びっくりしました。(児童)・韓国では毎日キムチを食べていることや、キムチ専用の冷蔵庫があると聞いておどろきました。今の大統領の人は、前はサラリーマンをしていた人だと聞いて、すごいと思いました。民族衣装を着せてもらえて、うれしかったです。(児童) |
| 先生の感想 | ・どの先生方もとても興味深いお話を下さり、私たち教師も夢中になって聞かせていただきました。また、具体物などをたくさん用意して下さい、パソコンを使って分かりやすく説明して下さいなど、児童たちが最後まで集中して話を聞ける工夫を下さっていたのが大変ありがたかったです。今回は、ワールドキャラバンに参加し始めてから6年目ということで、コーディネーターの先生がいらっしゃいませんでしたが、大きな問題もなく終えることができました。事前の打ち合わせをもう少しするべきだったと反省していますが、経験豊富な講師の先生方に助けられ、すばらしい交流をさせていただくことができました。本当にありがとうございました。 |

